

2009年活動全体報告

作成日：2010年4月22日



<報告内容>

1. ご挨拶
2. 2009年1～12月までの活動実施内容
3. 活動状況詳細（1～12月まで）
4. 中間訪問報告（2009年8月分）
5. 年末訪問報告（2009年12月）
6. 第8回刺繍創作コンテスト実施報告
7. 寄付の報告
8. 2010年の事業計画と事業形態について
9. まとめ

1. ご挨拶 代表：中平順子

09年第8回ベトナム刺繍創作コンテストを終えて

2009年12月5日 「第8回ベトナム創作刺繍コンテスト」を楽しく無事に終えることが出来ました。いつもご支援くださる皆様のおかげと、心から感謝申し上げます。

コンテスト参加者人数は14名と少なかったのですが、どれも力作で、今後がとても楽しみです。長年コンテストに継続参加している子どももおり、顔と名前が作品と一致してくるようになり、それが支援のもうひとつの楽しみにもなっています。

各施設は、みなホーチミンの郊外にあるので、コンテスト会場のアンミンろう学校へ来るのに時間がかかります。ですが、「毎年、遠足のように楽しみにしているんですよ」という言葉を各施設のシスターや担当の方がおっしゃってくださいました。支援する私たちにとって、うれしい言葉です。

これまでのコンテストでは、センターごとに座るような座席配置になっていたため、同じ施設の子どもたちばかりが固まりやすい状況でした。今回はなるべくほかの施設の子どもたちとも仲良く出来るようにと、違う施設の子ども同士でグループ分けをし、肖像画を向き合って描くワークショップを開催しました。耳が聞こえる子も聞こえない子も一緒になって、手話が飛び交い会話も飛び交う時間となりました。仕上げられたスケッチ作品も個性的でいいタッチの絵がいっぱい描かれていました。コンテストの中で、スケッチ作品の発表会も開催したのですが、そちらもまた笑顔の花咲く楽しいものになりました。

通訳のKさんご夫妻からのプレゼントで、マジックショーを余興に行うことが出来、最高の盛り上がりで、全員がマジックのとりこになりました。耳の不自由な子どもたちもたのしく参加が出来た様子で本当によかったです。

毎年開催しているコンテストですが、年々内容が充実しつつあります。それもこれも、かかわってくださる様々な方々のお力ゆえのこと。ありがとうございました。今回、このような良い時間を過ごせたことが大きな成果だと実感しております。

発展を続けるベトナム・ホーチミン市では、高層ビルの建設ラッシュ、そして新車の自家用車が目立つようになってきました。しかし、その一方で、やはり格差はどんどん広がりがつつあり、まだまだ私たちの支援は必要とされています。本当にささやかな支援ですが、出来ることをできるだけつないでいきたいと思っています。これからも、どうぞご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

追記：
毎年、報告書を1月内にお届けしておりましたが、事務局を担当する中平真由果が2月に子どもを出産しました関係でさまざまに雑事に追われてしまい、ご報告が遅れてしまいました。大変失礼いたしました。

2. 2009年1～12月までの活動実施内容

- 2009年1月 第8回刺繍創作コンテスト応募受付 1月31日まで 第8回コンテスト参加者申込（14名）
- ベトナム活動報告会 1月17日（浦和ドルフィン） 2008年活動報告会
- 2月 刺繍コンテスト生地郵送 2月1日～月末 計3センターに生地郵送（ベトナム）
- 多文化共生フェスティバル参加 2月15日（葛飾区） 物品販売参加
- プレ見本市参加 2月21日（松戸市） 活動内容講演
- 3月 NPO・市民活動見本市参加 3月7日 物品販売参加
- 5月 Let's体験2009（ゆいの花企画） 4月9日（松戸市） 学生ボランティア受入団体登録
- 6月 Let's体験2009（ゆいの花企画） 6月20日（松戸市） 学生ボランティア受入プログラム作成
- 7月 ゆいの花公園展示会準備 7月5日（松戸市） プログラム作成
- Let's体験2009（ゆいの花企画） 7月11日（松戸市） 学生募集プレゼンテーション
- 8月 ゆいの花公園展示会準備買出し 8月1日 8月8、9日用講座備品買出し
- ゆいの花公園展示会 8月7、8、9日 第1～7回作品展示会&草花講座
- Let's体験2009（ゆいの花企画） 8月29日 受入団体ふりかえりの会
- ベトナム中間訪問 8月12～17日 現地中間視察訪問
- 9月 第8回刺繍創作コンテスト作品提出日 9月30日 計3センターより作品提出
- 10月 刺繍創作コンテスト作品郵送（日本） 10月3日 作品展示会
- 第8回コンテスト打合せ 10月28日 アクアにてコンテスト次第打合せ
- 刺繍作品コメント文翻訳 10月3～ 翻訳者にコメント文郵送
- 11月 第8回刺繍創作コンテスト作品審査会 11月15～21日 ドルフィンにて作品審査会
- コンテスト必要書類、備品準備 11月1～30日 コンテスト賞状、参加賞などの準備
- 12月 ベトナム年末訪問 12月2～9日 現地年末視察訪問とコンテスト開催
- 第8回刺繍創作コンテスト開催 12月5日（ベトナム） アンミンろう学校にて

3. 活動状況詳細（1～12月まで）

1月…刺繍創作コンテスト参加者応募として、レミンスアン・ビンアン・キエンザンの3センターより計14名の参加申込がありました。

2月…全センター宛に作品生地を郵送しました。また、葛飾区市民活動センター開催の多文化共生フェスティバルに参加し、ベトナムのフェアトレード製品などを販売しました。このほか、松戸市で開催のNPO・市民活動見本市（プレバージョン）では、国際協力をテーマにした講演会に活動事例提供団体として参加。30分ほどの時間をいただき、ベトナムでの活動をスライド、作品展示でもって紹介しました。

3月…同じく、NPO・市民活動見本市（松戸市）に物品販売団体として参加。

5月…2008年より参加している学生ボランティア体験事業にボランティア受入団体として参加。また、8月のゆいの花公園展示会企画の段取りで松戸市役所の公園緑地課と打合せなどを行いました。

6月…Let's体験2009のボランティア受入プログラムを企画。

7月…同ボランティア事業の学生受入開始。

8月…ゆいの花公園、作品展示会&草木花あそび講座を開催。2日間開催した草木花あそび講座では、親子連れが参加してスイカなどの夏の果物を使ったおぼけ提灯などを製作したほか、平和に関する紙芝居上演を行いました。



ゆいの花公園（東松戸）展示会の様子

また、8月12～17日の期間において、中間訪問を実施。第8回刺繍創作コンテスト会場として使用させていただくアンミンろう学校への挨拶や、ホーチミン市内の刺繍製品取扱店のオーナーなどとコンタクトをとり、12月のコンテストへ見学にいらしてくださるよう招待をしました。また、クチ方面にあるティンズエンセンターへ要望のあったオムツなどの寄付を届けたほか、建設中のビンアン新センターの進捗状況などを見学。フェアトレード製品開発の分野では、ベトナムの障害児たちが制作しているさおり織りの織物を利用した新商品の開発に着手。神戸のNGOでホーチミンの障害児たちの支援に取り組んでいるV-HEARTの狭間範子さんの協力を得て、さおり織りをあてた紙芝居バックやカフェエプロンのサンプル製作を依頼しました。（例年は6月に中間訪問を実施していましたが、2009年はインフルエンザの流行が発生したため、8月に延期しました。）

9月…9月30日、第8回刺繍創作コンテスト作品提出期限の月。応募のあったセンターより作品が後援団体のアクア・ベトナム支所に提出され、日本へと郵送されました。

10月…作品のコメント文翻訳と、コンテストの準備開始。コンテスト次第などをアクア本部と打ち合せを行ったほか、賞状や参加賞、賞金含めての予算立てと備品購入などの準備に着手。昨年度好評だったお絵描きワークショップを今回のコンテストでも実施することに。今回のコンテストでは、“物事をとらえる力・バランス感覚の育成”を目的に、人物スケッチを行うことにしました。

11月…刺繍作品審査会をカフェ土瑠茶にて開催（11月15～21日）。投票にて受け付けました。また、コンテスト参加賞品として、水彩絵の具のセットやスケッチの鉛筆一式を購入したほか、ホーチミンの河村さんにお問い合わせをし、スケッチブックも購入しました。

12月…年末訪問を実施（12月2～9日）。ビンアンセンターの建設状況を視察したほか、キエンザンセンターを訪問。フランスの寄付団体が援助を取りやめるかも知れないなどの事情を伺い、厳しい台所状況であることを伺いました（翌月に、援助取りやめではなく援助規模縮小との決定が出されたとの報告を受けました。取りやめにはならなかったものの、打撃は大きいようです）。12月5日、第8回刺繍創作コンテスト開催（詳細は項目6を参照ください）。

4. 現地中間視察訪問（報告）

■ スケジュール

8月12日 18時成田出発。現地時間23時（日本時間1:00am）、ホーチミン到着。ボンセン2ホテルへ宿泊。

8月13日 アンミンろう学校訪問。刺繍コンテスト会場使用の件で挨拶と打ち合せしたほか、後援団体のアクア・ベトナム支所を訪問し、コンテストへ向けての挨拶と打ち合せを行いました。午後はクチ周辺にあるティンズエン・センターを訪問し、オムツやお菓子などの寄付を届けにいきました。



8月14日 F.F.S.C を訪問。

挨拶をした後、ビンアンセンターへ。建設中の新センター建物を見学するとともに、進捗状況などをセンタースタッフより伺う。また、旧施設で開講中の刺繍教室を視察見学。午後は、市場へ出向き、刺繍コンテスト用の生地やフェアトレード用の生地を購入しました。



ビンアンセンターで刺繍教室で学ぶ子どもたち

建設中の新ビンアンセンター

8月15日 F.F.S.C を訪問。

発注していたフェアトレード製品の製品確認と、新たに製品を発注（黒ポーチ）。午後はフェアトレード用の生地を購入しに市場へ行きました。

8月16日 ホーチミンで障害児たちの自立支援に携わっているH・Nさん(V-HEART:本部は神戸在住)と打ち合せのほか、市場へ生地を買いに行きました。狭間さんたちが支援している施設で製作されているさおり織りの布を使ったフェアトレード製品として、カフェエプロンと紙芝居を入れる大型のバックのサンプルを発注依頼。

23時の便でベトナム出国。翌17日早朝に成田到着。

【中間訪問の成果】

昨年より建設中のビンアンセンターの新施設を視察。外壁がほぼ完成し、内部の細かい仕様の製作に着手していました。2010年2月が完成予定とのこと。1・2階はパソコンや縫製・刺繍を学ぶ職業訓練教室、3・4階は、家や身寄りのない子どもたちが身を寄せる寄宿施設という内容です。

地域の教会の場所を借りて活動していたビンアンセンターでしたが、間もなく完成する新センター近くの民家に引越しをして、子どもたちは職業訓練（パソコン・刺繍・縫製）を受講していました。どの子も指導の先生とともに生き生きと学んでいました。また、これまでタンフーンセンターの運営資金として、ABMS支援者の方より年間活動費を寄付いただいていたのですが、タンフーンセンターの閉鎖（2008年/閉鎖の理由は受講希望生徒の減少）にともない、その寄付をビンアンセンターへ充当する了承をいただいたので、そちらの寄付金を届けました。

フェアトレード新製品としては、ホーチミンで活動しているH・Nさんに協力いただき、さおり織りに取り組む障害者施設の生地を使った紙芝居バックとカフェエプロンの製作を依頼しました。また、F.F.S.C には、黒い刺繍入りのポーチを発注したほか、前回の訪問時に発注していた聖書カバーを受け取りました。

そのほかとして、ホーチミン中心街で刺繍製品などを取り扱うショップの『オーセンティック』、『ZAKKA』、『Theu Theu』を訪問し、オーナー様に刺繍コンテストの活動や目的を説明し、12月開催の際にはぜひご参加をと招待しました。どのショップのオーナー様も活動に好感を持ってくださり、コンテストの日には顔を出したいとおっしゃってくださいました。

以上、8月の中間訪問では、F.F.S.C 管轄のビンアンセンターが着々と充実したプログラムと施設を整えつつあることが視察で確認できたこと、そして、フェアトレード製品開発分野においても実りの多い成果がありました。

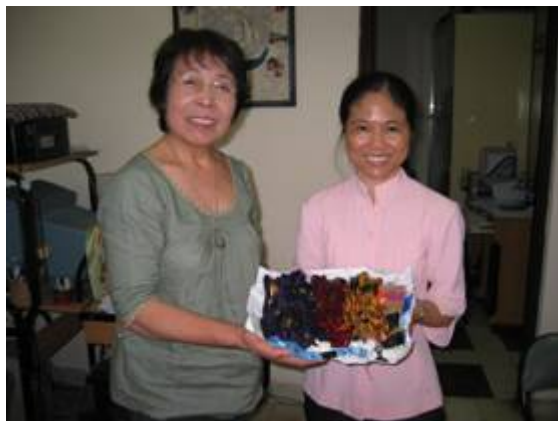
5. 年末訪問報告（2009年12月）

■スケジュール

12月2日 18時成田出発。ボンセン2・ホテル宿泊。

12月3日 9:00ホテル出発。エプロンドレスなどの生地を購入するべく市場へ。その後、アンミンろう学校へ行き、5日コンテスト当日の会場使用の確認と寄付を渡しました。ホーチミンで人気の洋服オーダーメイド店・ZAKKA、そして刺繍製品専門店のTheu Theuを訪問。活動資金用の製品を購入・オーダーしました。また、刺繍創作コンテストの招待を再度案内しました。夜は、ホテルにて5日コンテストの準備と段取り。

12月4日 F.F.S.C訪問。フェアトレード製品として発注していた黒ポーチなどを受け取りました。また、エプロンドレスのサンプルを提示して新たにフェアトレード製品を発注。そのほか、日本の支援者の方より届いた刺繍糸を寄贈したほか、センターが製作した製品を買い付けました。午後は、5日コンテストのランチを約60名分予約注文のほか、菓子や飲み物の買い出し、アクア・ベトナム支所に作品を入れる額縁を取りに伺う。夜は、作品を額縁に入れる作業を行いました。



寄贈された刺繍糸を届けました



F.F.S.Cにて完成製品の納品を確認

12月5日 7:30ホテル出発、アンミンろう学校へ。刺繍創作コンテスト開催。

12月6日 6:00ホテル出発、カンボジア国境沿いを経てキエンザン省へ。23:00キエンザン着。

12月7日 9:00キエンザンセンター訪問。

刺繍教室、授業風景などを視察。どの子もみな、美しい文字を書き、一生懸命勉強している姿に感動しました。ホンシスターとフェアトレード製品発注の打ち合せ。世界的な不況のおかげでフランスの支援団体が援助を取りやめるかもという話を聞き、厳しい台所状況を伺いました。何とかならぬものかとせめてもの思いでセンターに残っていた刺繍製品を買い付け、その後、昼食をいただいて13:00にセンターを出て、ホーチミンへ。20:00ホーチミン到着。



12月8日 9:00 F.F.S.C 訪問。

フェアトレード製品の受け取りました。新たに発注した製品について再度打ち合せ。F.F.S.Cにて昼食をご馳走になり、午後はビンアンセンターを訪問しました。間もなく建設中の新センターが完成するとあって、スタッフが皆、明るい表情をしていました。17:00ホテルへ戻り、帰国の準備。23:00発の飛行機でホーチミン出発。



ビンアンセンターの教師と子どもたちと

12月9日 朝7:00成田到着。

【年末訪問の成果】

刺繍創作コンテストに、ホーチミン中心街にショップを構えている日本人オーナーの『ZAKKA』、『Kito Shop』、『Theu Theu』の方がゲスト参加をしてくださいました。センターの子どもたちが創ったコンテストの作品を見てもらったほか、コンテスト終盤で作品への評価を語っていただきました。実際に刺繍製品を取り扱うショップのオーナーから作品評価を受けて、子どもたちもセンターで指導にあたる先生たちも喜んでいました。また、今回参加いただいたオーナーの皆様が、コンテストの主旨と内容に理解と共感を示してくださいました。当日のお絵描きワークショップを手伝っていただいたり、フェアトレード製品開発に関しても、関心を示してくださいました。

建設中のビンアンセンターでは、部屋の内部の備品類が設置されており、着々と完成に近づいていました。次回
の訪問ではハサミや針などを届けようと計画しています。

6. 第8回刺繍創作コンテスト実施報告

12月5日(土)、アンミンろう学校にて第8回刺繍創作コンテストを開催しました。今回のコンテスト作品応募者は計14名でした(キエンザンセンター5名、ピンアンセンター6名、レミンスアンセンター3名)。作品のテーマは、「私の好きな花」でした。

参加者総数・・・46名(ゲスト・スタッフ含)

センター参加者：23名

ゲスト参加者：11名

スタッフ数：12名



■ 受賞者一覧

・ 10歳以上15歳未満部門

最優秀賞 ファン・ティ・ミーレさん(レミンスアンセンター)

作品タイトル「沖縄道芝草」

優秀賞 ダオ・ティ・、モン・ヴァン(ピンアンセンター)

作品タイトル なし

奨励賞 レ・ティ・ゴック・チンさん(ピンアンセンター)

作品タイトル なし

・ 16歳以上20歳未満部門

最優秀賞 グエン・ティ・ミン・トゥーさん(レミンスアン)

作品タイトル「菊にとまるとんぼ」

優秀賞 レ・ティ・イエン・ニーさん(ピンアンセンター)

作品タイトル なし

奨励賞 タイック・ティ・チュック・スアン(キエンザンセンター)

作品タイトル「迎春(梅花)」

■ コンテストの流れ

10:00 開式挨拶・・・ ABMS：中平順子、アクア本部：二階堂氏

10:05 センター紹介・・・センターの紹介（シスター主導で子どもたちを紹介）

10:15 参加賞の授与式・・・参加賞状と賞品（スケッチブック&スケッチ鉛筆）



キエンザンセンターの子どもたちとシスター

10:30 お楽しみ会（紙芝居&マジックショー）



10:55 休憩

11:00 スケッチワークショップ・・・「物事をとらえる力・バランス感覚の育成」（40分）



11:40 コンテスト受賞者発表と授与式



12:00 昼食



昼食風景



にぎやかに手話が飛び交うランチになりました



12:30 ワークショップ成果物発表会（スケッチ発表会）

12:45 総評とゲストコメント 次回開催の案内（資料配布）

12:50 閉式 解散

13:30 撤収

■ コンテストを開催して

第8回刺繍創作コンテストでは、授賞式以外に昨年に引き続いてお絵描きワークショップを開催したほか、お楽しみのアトラクションとしてマジックショーも披露しました。こちらのマジックショーは、ホーチミンでいつも通訳をお願いしているKさん御夫妻が提供してくださいました。ありがとうございました。朝10時から13時までの3時間というわずかな中で、授賞式、ワークショップ、マジックショーなどを盛り込んだ内容となりましたが、「これまででいちばん楽しかった。充実していた」という声に参加者より寄せられました。また、コンテスト参加者にプレゼントしている参加賞として、今回は水彩絵の具のセット、スケッチブック、デッサン用鉛筆と消しゴム、鉛筆けずりを用意しました。

お絵描きワークショップでは、別々のセンター同士でペアになるようグループ分けをし、初対面同士、お互いの顔を描きあいました。ろうあの子も、健常者の子も、お互い工夫しあってコミュニケーションをとり、笑い声が響くワークショップとなりました。

第8回も参加人数が14名と少人数だったため、寄付としていただいた20万円の予算で全員の昼食代や参加賞、受賞者の賞金やワークショップの備品代、交通費などをまかなうことができました。また、ベトナム国内の物流が

豊かになったことから、品の良いスケッチブックをホーチミンで購入しました。それにより、かなり経費を浮かすことができ、10,151 円の余剰金が発生しました。こちらは第9回コンテスト経費として繰越させていただきます。

7. 寄付の報告

【寄付 一般事業者・団体一覧】（順不同／敬称略）

個人名につき、ネットでは非公開

【刺繍創作コンテスト後援団体】（順不同／敬称略）

民間協力団体アクア、JR 東日本労働組合大宮地方本部

【物品提供協力】（順不同／敬称略）

個人名につき、ネットでは非公開

【フェアトレード製品デザイン協力】（順不同／敬称略）

松井エイコ（壁画家・紙芝居作家）

【国内刺繍作品展示会 会場提供】（順不同／敬称略）

松戸市紙敷「ゆいの花公園」、大宮北高校（文化祭にて）

【コンテスト作品審査協力】（順不同／敬称略）

個人名につき、ネットでは非公開

【ABMS 製品販売協力】（順不同／敬称略）

カフェ土瑠茶、(株)サンポー（ロックハート城）、四季の森、個人名は非公開

【ほか】

■事務局協力（順不同／敬称略）

河村きくみ（通訳）、倉本麻美子（翻訳）、根田佳子、原田龍一、佐藤貞征、村木節子、岩崎晴美

■ 報告書写真提供・協力（順不同／敬称略）

岩崎晴美、河村きくみ、アクアベトナム支所

ご協力、ご支援くださった皆様、ありがとうございました。

8. 2010年の事業計画と事業形態について

アジアの文化を守り育てる会（以下、ABMS）は、寄付部門とフェアトレード・物品販売部門による二本柱で運営してきました。とくに、近年は、支援費用を含む活動費のほとんどをフェアトレード製品・市販製品販売の売上げでまかなうことができるようになってきました。現地センターの希望としても、今後もフェアトレード取引やセンター製作の物品を日本で販売する支援が挙げられています。そこで、フェアトレード製品開発を本格化する意味でも、2010年より、ABMSの活動を代表中平順子の自宅であるカフェ土瑠茶の社会貢献事業という仕組みに組み替えることにしました。

<ABMSの活動資金基盤>2010年より

アジアの文化を守り育てる会	
<p>【物品販売部門】 カフェ土瑠茶の社会貢献事業 資金源:カフェ土瑠茶。フェアトレード製品の開発、販売、講演会、講座などの物販事業をまかない、企業などとフェアトレード製品開発事業を行うほか、税金の申告を担当します。販売された収益のうち、経費を除いた90%をアジアの文化を守り育てる会の活動経費として寄付します（残りの10%はカフェ土瑠茶の事務経費として計上）。</p> <ul style="list-style-type: none">■ フェアトレード製品取引と販売■ 物品販売■ 国際平和啓発活動	<p>【寄付部門】 これまでどおりの任意団体組織 資金源:ABMSに寄せられた寄付金。物品販売を担当するカフェ土瑠茶とは別会計。会計は任意団体のABMSとして処理します。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 刺繍創作コンテスト支援寄付■ センター運営費寄付■ 職業訓練備品寄贈・寄付 など

9. まとめ（今後の活動について）

2009年は、事務局サイドの事情により、日本国内での展示活動などを展開することが難しくもありましたが、その一方で、フェアトレード製品の開発分野において、ホーチミン在住の日本企業へのアプローチや新しいサンプル製品への評価が高まるなど、ABMSの今後に期待できそうな動きが見えてきました。これまで、試験的に取り組んできた製品開発の基盤が整い、本格的な支援ビジネスとして質の高い商品を提供できるようになりました。今後は、社会貢献事業のプログラムを作成し、日本国内の企業へのアプローチや営業活動に取り組みたいと思います。

刺繍コンテストは、2010年の今年は第9回目を迎えます。毎年継続参加する子どもが増え、力量もレベルアップしています。今後も参加者を募り、楽しいひと時をプレゼントできるイベントとしても取り組んでいきます。また、国内における刺繍作品展示会を、さいたま市と松戸市のほか、数ヶ所で開催できるようアプローチしていきます。